

第 29 回日本バイオインフォマティクス学会評議員会議事録

日 時：平成 22 年 12 月 14 日(火) 11:30-13:15

場 所：九州大学医学部百年講堂中ホール

出席者：松田（会長）、浅井（副会長、評議員）、奥村、木下、皿井、須山、
富井、野口、阿久津、大林、佐藤、関嶋、米屋、（評議員）、久原、
清水（評議員・幹事）、平川、中井（幹事）、渋谷（幹事・議事録）、
鈴木（事務局）、坂井（オブザーバ）

評議員会の議事に先立って、松田会長より、今回の評議員会では学会の法人化が議題にあがっているため、法人の申請資料の作成で協力頂いた坂井氏にオブザーバとして出席をお願いしたいとの提案があり、了承された。

1. 総会資料について

松田会長より、本年度総会資料についての説明があり、承認された。

2. 沖縄地域部会設立について

松田会長より、沖縄地域部会設立について説明がなされ、承認された。

3. 地域部会運営規定の改定

松田会長より、沖縄地域部会の設立に伴い、地域部会運営規定第 1 条の「九州・沖縄」を「九州、沖縄」と改定するとの説明がなされ、承認された。

4. 応用システムバイオロジー研究会について

松田会長より、8月のメール審議で名称変更と主査・運営委員の交代が承認された応用システムバイオロジー研究会（旧 システムバイオロジー研究会）の今年度の活動計画と予算案について説明がなされ、承認された。

5. 2010 年年会について

本年度の JSBi 年会について久原年会長より報告があった。

6. 2011 年年会について

2011 年年会長阿久津評議員より、当該年会については CBI 学会と合同で開催することが既に決定しているが、会議の名称、参加費の金額、経理処理方法について説明がなされ、承認された。また、学生参加者については、その参加者の希望により、その年度の学生会員になるようにしたいとの提案があり、承認された。

7. 2012 年年会について

2012 年年会について、松田会長より報告があった。

CBI 学会では、2012 年年会の年会長、時期（10月15～17日）、場所（東京近辺）が既に決定されており、JSBi 側でも合同開催を念頭に年会長を迅速に調整を行っていくこととともに、年会担当幹事として有田幹事が CBI 側との調整等を行っていくことが承認された。

8. 公募研究会について

松田会長より、公募研究会の公募の趣旨について、公募要項に追加を行うことが報告され、

承認された。また、他の助成等との関係についても応募の際に確認を行うようにすることになった。

9. Genome Informatics の編集と J-Stage への移行について

松田会長より、Genome Informatics の J-Stage への移行を行うことについて報告があった。また、今回の年会の発表内容について、発表者に再投稿をお願いし、Genome Informatics の JSBi 年会特集号として出版することを計画している。

10. InCoB2011 へのサポートレターについて

松田会長より InCoB へのサポートレターについて報告があった。

11. 日本学術会議会員および連携会員の候補者について

日本学術会議より日本学術会議会員および連携会員の候補者についての情報提供を求められていることについて、松田会長より報告があった。

12. バイオインフォマティクス技術者認定試験

本年度のバイオインフォマティクス技術者認定試験について中井幹事より報告があった。

13. 評議員選挙について

次回の評議員選挙について、松田会長より報告があった。評議員選挙は時期を少し早めて従来通り行い、新評議員は学会 NPO 法人の設立申請書類で設立時の理事として名前をあげる予定との説明があり、承認された。

14. 学会の法人化について

松田会長より、学会 NPO 法人化の際の定款案、細則案、設立趣旨書案および、今後の移行スケジュール案の内容と、3月に予定している設立総会までにこれらを確定させる必要があるとの説明があり、討議の結果、細則案を一部修正した後、承認された。

以上